

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

● 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

● 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご修理をご依頼ください。

お買い上げ店またはソニーサービス窓口をお持ちになる際は、必ずヘッドホンとプロセッサーと一緒に持ちください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告 この表示の注意事項を守らないと、大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号



火災



感電



禁止

警告 下記の注意を守らないと、
火災・発熱・発火・感電によりやけどや大けがの原因となります。

運転中は使用しない

自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



禁止



注意 下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の家財に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

かゆみなど違和感があつたら使わない

使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して医師またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲に

よる**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

充電式電池

専用充電式ニッケル水素電池 BP-HP2000

乾電池*

アルカリ単3形

* マンガン乾電池では、ご使用時間が極端に短くなるため、おすすめしません。

危険 充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

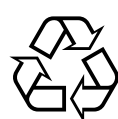
警告 乾電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

注意 乾電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

日本国内での充電式電池の廃棄について



ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Ni-MH

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人 JBRCホームページ
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>
を参照してください。

SONY

ワイヤレスステレオヘッドホン

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MDR-RF6000

© 2005 Sony Corporation Printed in Malaysia



* 2 6 5 6 4 5 1 0 2 * (1)

主な特長

本システムは、2.4 GHz無線伝送方式（デジタル）を使用したデジタルサラウンドヘッドホンシステムMDR-DS6000専用の増設ヘッドホンです。DVD機器やBS/地上波デジタルチューナーなどと別売りのプロセッサーを、光デジタル接続ケーブルで接続するだけで、マルチチャンネルのサラウンド音場をヘッドホンで快適にお楽しみいただけます。

- 外来ノイズなどの影響を受けにくく、CD音質と同等のデジタル無線伝送を利用した、ワイヤレスヘッドホン採用（非圧縮伝送）
- 無線伝送方式採用のため、障害物を気にすることなく屋内での使用が可能（到達距離最大約30 m*）
- 新しい電池をプロセッサーにのせるだけの簡単充電方式
- ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構を採用
- ヘッドホンをかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン/オフ機能
- 電源は、付属の専用充電式ニッケル水素電池、または別売りの単3形アルカリ乾電池のどちらでも使用可能
- ヘッドホンには映画音質を再現するため広いダイナミックレンジを実現するXDロングストローク振動板搭載の大口徑40 mmドライバーユニットを採用

* 到達距離は目安です。周囲環境により到達距離が変わる場合があります。

別売りのプロセッサーが必要です

本機は単体ではお使いになれません。別売りのデジタルサラウンドヘッドホンシステムMDR-DS6000と組み合わせてお使いください。

主な仕様

一般仕様

再生周波数帯域	12 ~ 22,000 Hz
電源	付属の専用充電式ニッケル水素電池または別売りの単3形アルカリ乾電池
質量	約360 g（付属の専用充電式ニッケル水素電池含む）

付属品

専用充電式ニッケル水素電池 BP-HP2000 (2000 mAh min)(1)
取扱説明書（本書）(1)
ソニーご相談窓口のご案内 (1)
保証書 (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
お客様ご相談センター
● ナビダイヤル …… ☎0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX …… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

▶ 準備

ヘッドホンに電池を入れる

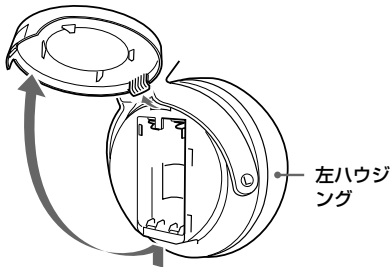
まず、付属の専用充電式ニッケル水素電池を、MDR-DS6000に付属のプロセッサで充電してください。詳しくは、MDR-DS6000の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

充電中は、プロセッサの電源が自動的にOFFになります。プロセッサを使用しているときは充電できませんので、ご注意ください。

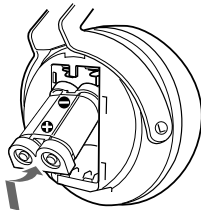
1 左ハウジング部にある電池のふたを開ける。

電池のふたは、はずれます。



2 付属の専用充電式ニッケル水素電池を入れる。

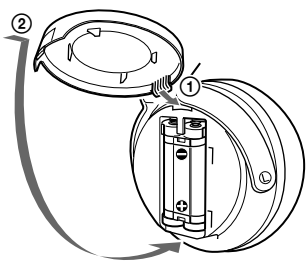
付属の充電式電池以外は充電しないでください。



ご注意

電池ケースの⊖側には充電電池を固定するためのツメがあります。充電電池を入れるときは、⊖を先に入れてください。

3 電池のふたを閉じる。



電池の持続時間

電池の種類	持続時間*1
専用充電式ニッケル水素電池 BP-HP2000 (付属)	約7時間*2 (フル充電した場合)
ソニーアルカリ乾電池 LR6(SG) (別売り)	約5時間*2

*1 1 kHz、1 mW+1 mW出力時

*2 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

電池を確認するには

フリーアジャストバンドを引き、右ハウジング内の電源ランプが青く点灯すれば使用できます。電源ランプが点灯しないときは、充電するか、新しいアルカリ乾電池でお使いください。



ご注意

付属の充電式ニッケル水素電池を十分に充電しても、使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。この充電式電池BP-HP2000は市販されていませんので、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせの上、お取り寄せください。

ヘッドホンを増設するときは

プロセッサには固有のIDが設定されています。本機を増設する場合は、プロセッサに設定されているIDをヘッドホンに登録しなければ使用することができませんので、必ず登録作業を行ってください。

1 プロセッサからヘッドホンをはずす。

プロセッサの電源が入ります。

2 ヘッドホンをかける。

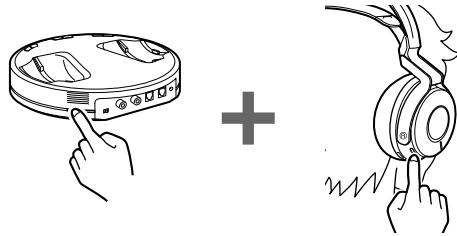
ヘッドホンの電源が入ります。

ご注意

増設するヘッドホンに付属の充電電池は登録作業の前に充電するか、別売の単3形アルカリ乾電池を使用してください。

3 プロセッサとヘッドホンのTUNE/ID SETボタンを同時に約3秒以上押し続ける。

ヘッドホンから「ピッピッピッ・・・」とピープ音が聞こえ、ヘッドホンにIDの登録が開始されます。ピープ音が「ピー」と変化するまでTUNE/ID SETボタンを押し続けてください。ピープ音が「ピー」と変化したらヘッドホンにIDが登録され、ヘッドホンを使用することができるようになります。



▶ 使いかた

音声を聞く

MDR-DS6000の取扱説明書もあわせてご覧ください。

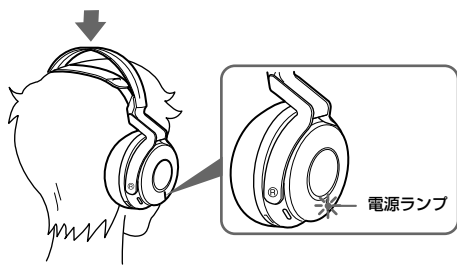
1 プロセッサをつないだ機器の電源を入れる。

2 プロセッサからヘッドホンをはずす。

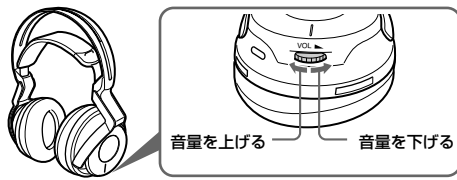
3 ヘッドホンをかける。

右ハウジング内の電源ランプが青く点灯し、自動的に電源が入ります。

右ハウジング部を右耳に、左ハウジング部を左耳に合わせ、オートパワーオン/オフ機能が正確に働くように、頭の上から垂直にかけてください。ヘッドホンをかけてから、音声が入るまで約3秒かかります。



4 音量を調節する。



ご注意

- 映画の場合、静かなシーンで音量を上げすぎで、急な爆発シーンなどで耳を痛めないようご注意ください。
- ヘッドホンをはずす前にプロセッサからACパワーアダプターをはずすと、雑音が入ることがあります。

ヘッドホンをはずすと自動的に電源が切れます — オートパワーオン/オフ機能

お使いにならないときは、フリーアジャストバンドが引き上げられた状態にならないようご注意ください。オートパワーオン機能が誤って働いてしまい、電池が消耗します。

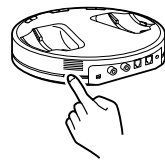


ヘッドホンからピープ音が聞こえるときは

電波の届く範囲から離れたたり、2.4 GHz帯の周波数を使用する無線機器や電子レンジなどの影響を受けて、ヘッドホンの受信状態が悪くなると「ピッピッピッ・・・」というピープ音が聞こえます。プロセッサに近づいてもピープ音がとまらない場合は、伝送に最適な周波数を次の手順で再検出してください。

1 プロセッサのTUNE/ID SETボタンを1回短押しする。

RFランプが点滅し、プロセッサが最適な周波数を自動的に検出します。検出が完了すると、RFランプが点滅から点灯に変わり、送信が始まります。



2 ヘッドホンのTUNE/ID SETボタンを1回短押しする。

プロセッサから送信されている周波数を自動的に検出します。受信が始まると、ピープ音が解除されます。



▶ その他

使用上のご注意

取り扱いについて

- 本機を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 本機を分解したり、開けたりしないでください。

次のような所には置かないでください

- 直射日光があたる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所
- 風呂場など、湿気の多い所

ヘッドホンについて

まわりの人のことを考えて

ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎで、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くとときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

イヤークッションについて

イヤークッションは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、破損したら交換してください。イヤークッションを交換する場合は、ソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

音が出ない

- プロセッサとAV機器の接続を確認する。
- デジタル入力を選択している場合は、誤って光出力端子に信号が入力されていないか確認する。
- プロセッサにつないだAV機器の電源を入れ、再生を始める。
- プロセッサとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンを頭の上から垂直にかけ直す。
- ヘッドホンの音量を上げる。
- ヘッドホンの電源ランプが点灯している。
 - 充電式電池が消耗しているのを充電する。またはアルカリ乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。

音がひずむ、とぎれとぎれになる(同時にノイズが出る場合もある)

- 充電式電池が消耗しているのを充電する。またはアルカリ乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。
- プロセッサとヘッドホンの周辺に2.4 GHz帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認する。
- プロセッサの位置を変える。
- プロセッサとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を下げる。

音が小さい

- プロセッサとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの音量を上げる。

雑音が多い

- プロセッサとヘッドホンの周辺に2.4 GHz帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認する。
- プロセッサとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。
- 充電式電池が消耗しているのを充電する。またはアルカリ乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。

充電できない

- CHG (充電) ランプが点灯しているか確認する。ヘッドホンがプロセッサの正しい位置にのせられているか確認する。
- 乾電池が入っている。
 - 付属の専用充電式ニッケル水素電池を入れる。
- 付属以外の充電式ニッケル水素電池が入っている。
 - 付属の専用充電式ニッケル水素電池を入れる。
- 充電端子が汚れている。
 - ヘッドホンとプロセッサの充電端子の汚れを綿棒などで軽くふき取ってください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではコードレスステレオヘッドホンの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。